

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】令和 5 年 8 月 7 日(2023.8.7)

【公開番号】特開 2022-26849(P2022-26849A)
【公開日】令和 4 年 2 月 10 日(2022.2.10)
【年通号数】公開公報(特許)2022-025
【出願番号】特願 2020-130510(P2020-130510)
【国際特許分類】

G 0 8 G 1/01(2006.01)

10

G 0 8 G 1/04(2006.01)

H 0 4 N 7/18(2006.01)

G 0 6 T 7/20(2017.01)

【F I】

G 0 8 G 1/01 F

G 0 8 G 1/04 C

H 0 4 N 7/18 C

G 0 6 T 7/20 3 0 0

【手続補正書】

20

【提出日】令和 5 年 7 月 28 日(2023.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮像手段に撮像された画像においてユーザ操作に基づき設定された通過線上における異なる複数の位置について、当該位置を通過した物体の数を取得する取得手段と、

30

前記通過線上における前記複数の異なる位置について、当該位置を通過した物体の数に基づく情報を表示手段に表示させる表示制御手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記表示制御手段は、前記情報を重畳した前記画像を前記表示手段に表示させる、請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記表示制御手段は、前記通過線上における前記複数の異なる位置について、当該位置を通過した物体の数を示すグラフに対応する図形を重畳した前記画像を前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

40

【請求項 4】

前記表示制御手段は、前記通過線上における前記複数の異なる位置について、当該位置を第 1 方向に通過した物体の数を示す第 1 グラフに対応する第 1 図形、および、前記通過線上における前記複数の異なる位置について、当該位置を当該第 1 方向と異なる第 2 方向に通過した物体の数を示す第 2 グラフに対応する第 2 図形、の少なくともいずれか一方を重畳した前記画像を前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記表示制御手段は、前記通過線上における前記複数の異なる位置について、当該位置を第 1 集計期間に前記第 1 方向に通過した物体の数を示す前記第 1 グラフに対応する前記

50

第 1 図形、および、前記通過線上における前記複数の異なる位置について、当該位置を前記第 1 集計期間に前記第 2 方向に通過した物体の数を示す前記第 2 グラフに対応する前記第 2 図形、の少なくともいずれか一方を重畳した前記画像を前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 4 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記表示制御手段は、前記通過線上における前記複数の異なる位置について、当該位置を前記第 1 集計期間に前記第 1 方向に通過した物体の数を示す前記第 1 グラフに対応する前記第 1 図形、および、前記通過線上における前記複数の異なる位置について、当該位置を前記第 1 集計期間と異なる第 2 集計期間に前記第 1 方向に通過した物体の数を示す第 3 グラフに対応する第 3 図形、を重畳した前記画像を前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 5 に記載の情報処理装置。

10

【請求項 7】

前記第 1 図形の表示態様と、前記第 3 図形の表示態様は異なることを特徴とする請求項 6 に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記通過線上における前記複数の位置は、前記通過線を複数の分割された複数の区間に対応することを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記通過線上における区間の個数は、ユーザ操作に基づき設定可能であることを特徴とする請求項 8 に記載の情報処理装置。

20

【請求項 10】

前記物体は、人物であることを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 11】

撮像手段に撮像された画像においてユーザ操作に基づき設定された通過線上における異なる複数の位置について、当該位置を通過した物体の数を取得する取得工程と、

前記通過線上における前記複数の異なる位置について、当該位置を通過した物体の数に基づく情報を表示手段に表示させる表示制御工程とを有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 12】

30

前記表示制御工程において、前記通過線上における前記複数の異なる位置について、当該位置を通過した物体の数を示すグラフに対応する図形を重畳した前記画像を前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 11 に記載の情報処理方法。

【請求項 13】

前記表示制御工程において、前記通過線上における前記複数の異なる位置について、当該位置を第 1 方向に通過した物体の数を示す第 1 グラフに対応する第 1 図形、および、前記通過線上における前記複数の異なる位置について、当該位置を前記第 1 方向と異なる第 2 方向に通過した物体の数を示す第 2 グラフに対応する第 2 図形、の少なくともいずれか一方を重畳した前記画像を前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 11 または 12 に記載の情報処理方法。

40

【請求項 14】

前記表示制御工程において、前記通過線上における前記複数の異なる位置について、当該位置を第 1 集計期間に前記第 1 方向に通過した物体の数を示す前記第 1 グラフに対応する前記第 1 図形、および、前記通過線上における前記複数の異なる位置について、当該位置を前記第 1 集計期間に前記第 2 方向に通過した物体の数を示す前記第 2 グラフに対応する前記第 2 図形、の少なくともいずれか一方を重畳した前記画像を前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 13 に記載の情報処理方法。

【請求項 15】

前記表示制御工程において、前記通過線上における前記複数の異なる位置について、当該位置を前記第 1 集計期間に前記第 1 方向に通過した物体の数を示す前記第 1 グラフに対

50

応する前記第 1 図形、および、前記通過線上における前記複数の異なる位置について、当該位置を前記第 1 集計期間と異なる第 2 集計期間に前記第 1 方向に通過した物体の数を示す第 3 グラフに対応する第 3 図形、を重畳した前記画像を前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 1 4 に記載の情報処理方法。

【請求項 1 6】

前記第 1 図形の表示態様と、前記第 3 図形の表示態様は異なることを特徴とする請求項 1 5 に記載の情報処理方法。

【請求項 1 7】

前記通過線上における前記複数の位置は、前記通過線を複数の分割された複数の区間に対応することを特徴とする請求項 1 1 乃至 1 6 のいずれか 1 項に記載の情報処理方法。

10

【請求項 1 8】

前記通過線上における区間の個数は、ユーザ操作に基づき設定可能であることを特徴とする請求項 1 7 に記載の情報処理方法。

【請求項 1 9】

前記物体は、人物であることを特徴とする請求項 1 1 乃至 1 8 のいずれか 1 項に記載の情報処理方法。

【請求項 2 0】

コンピュータを、請求項 1 0 乃至 1 8 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

20

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記課題を解決するために、本発明の情報処理装置は以下の構成を備える。すなわち、撮像手段に撮像された画像においてユーザ操作に基づき設定された通過線上における異なる複数の位置について、当該位置を通過した物体の数を取得する取得手段と、前記通過線上における前記複数の異なる位置について、当該位置を通過した物体の数に基づく情報を表示手段に表示させる表示制御手段とを有する。

30

40

50